

[平成 27 年 11 月 14 日] 1 部 労働経済論Ⅱ特別講義

「学校で労働法・労働組合を学ぶ—— 自らを守るために、ひとびとを救うために」

毎年恒例の「団結剣」企画を 2015 年 11 月 14 日に開催。「学校で労働法・労働組合を学ぶ——自らを守るために、ひとびとを救うために」と題して、学生のアルバイト問題や若者労働の現状を「教材」に学びました。講師は、おなじみの鈴木一氏（札幌地域労組副委員長・写真右上）です。

学生の多くはアルバイトをしています。そして、ブラックバイトという言葉が人口に膾炙したことからも明らかなとおり、様々なトラブルを経験しています。厚生労働省からタイムリーにも発表された「大学生等に対するアルバイトに関する意識等調査結果」（2015 年 11 月 9 日発表）でも、学生 1,000 人が経験したアルバイト延べ 1,961 件のうち 58.7% が労働条件通知書等の不交付などのトラブルを経験していました。労働法など学ぶ機会もなく働き始めている学生たちが鈴木氏の話を真剣に聞く姿をみると、労働教育の構想が私たち学校関係者に求められていることをあらためて痛感した次第です。[川村]

